

1 北海道の農業1

- (1) 降水量が少ない北海道での農業は(**畑作**)が中心で、耕地の8割を占める。
- (2) 北海道では、広大な土地を用いた(**大規模農業**)が盛んで、機械化が進んでいる。
- (3) (**十勝平野**)では、冷涼で少雨な気候でも育つじゃがいもや大豆などの畑作が盛んである。
- (4) 北海道では、他の職業と兼業をしない(**専業農家**)の比率が高い。
- (5) 夏の気温が比較的高い北海道中央部の(**石狩平野**)では、稲作も盛んに行われている。

2 北海道の農業2

- (6) 北海道は、砂糖の原料となる(**てんさい**)栽培の中心地である。
- (7) 北海道は、冷涼少雨でも育つ(**じゃがいも**)の収穫量が全国一位である。
- (8) 北海道の夕張市は、(**メロン**)の栽培が盛んである。
- (9) 北海道は、冷涼少雨でも育つ(**大豆**)の収穫量が全国一位である。
- (10) 石狩平野は元々泥炭地だったが、(**客土**)によって土地改良を進めた。

<ワンポイント解説>

- ... 北海道の耕地の多くが畑だが、北海道の米の生産量は全国一位。
- ... 特に、機械や肥料に資金をかけて大規模に行う農業を、集約的農業と言う。
- ... 十勝平野は北海道の全面積のおよそ10%を占める広大な平野。
- ... 大規模農業が中心の北海道では、ほかの職業との兼業が少ない。
- ... 石狩平野には北海道最大の河川の石狩川が流れており、稲作が盛ん。

- ... てんさいは、砂糖大根、ビートとも呼ばれ、砂糖の原料になる。
- ... じゃがいもは少雨、冷涼でも育つため古くから栄養源として重宝されてきた。
- ... 夕張メロンやあきたこまちなど地方で特産となっている高級品種を、地域ブランドという。
- ... 大豆を栽培すると土壌に栄養が残るため、毎年作物を交代させる輪作に用いられる。
- ... 泥炭とは、寒さのため植物が分解されず、土に泥のようにたまったもの。



【アプリ版のご紹介】中高生の地理

扇状地、混合農業、瀬戸内式気候、ルール工業地帯、BRICs、。地理を学ぶ上で絶対に抑えておきたい重要事項を、分かりやすく解説。このアプリ一本で、日本・世界の各地域の地誌をマスターすることができます。



【他アプリからオマケの一題】

中高生の公民

1997年に結ばれた、温室効果ガスの削減目標を定めた条約は？
(A) ジュネーブ条約 (B) 京都議定書 (C) 原子力協定 (D) 南極条約